

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

愛西市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県愛西市

### 3 地域再生計画の区域

愛知県愛西市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、2000年の65,597人をピークに緩やかな減少局面に入ってきており、住民基本台帳によると2020年に62,849人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、このまま何の対策も講じない場合、全国的な傾向と同様に人口減少、少子高齢化が進み、2060年には33,348人になる見込みである。

本市の年齢3区分別人口割合をみると、15～64歳（生産年齢人口）は、1995年をピークに減少傾向にあり、2015年に36,473人となっている。15歳未満（年少人口）は、1995年まで急減し、2005年までは横ばい傾向であったが、その後は減少傾向にあり、2015年に8,108人となっている。65歳以上（老年人口）は継続して増加しており、2015年に18,448人となり、少子高齢化の傾向が続いている。

自然動態については、高齢化などの影響により、死亡数は増減を繰り返しながらも増加しており2017年に686人となっている一方、出生数は、増減を繰り返しながらも減少傾向であり2017年に311人となっている。本市では出生数が死亡数を上回る自然増の状況が2002年まで続いていたが、その後は、出生数が死亡数を下回る自然減となっている。2017年には375人の自然減となり、減少幅が拡大している。なお、合計特殊出生率は2013年から2017年の間に1.25となっており、全国、愛知県と比較して低く推移している。

社会動態については、近年は転出超過の傾向になっており、2018年には115人の社会減となっている。

人口減少や少子高齢化が進むことで、若い世代が減少することによるまちの活力の低下、高齢化の進展に伴う社会保障関係費の増加等により、地域社会の担い手の減少による地域経済力の低下や地域インフラの維持が困難になる等、様々な社会的・経済的な課題が生じる。

本市の特徴として、合計特殊出生率が低いことや晩婚化傾向がみられることがあげられる。しかし、一方では30歳代～40歳代前半及びその子ども世代の社会増加もみられていることから、若い世代を本市に呼び込み、定住を促進するための取組を進めることで、安定的な人口構造としていくことが可能と考えられる。

上記の課題に対応するため、本市の特徴を踏まえた上で、本計画において次の事項を基本目標に掲げ、子育て支援施策等を推進することで自然減を抑制していく取組、子育て世帯の転入促進と、雇用の創出等市内で働ける環境の整備等で社会減を抑制し、社会増を促進する取組、また、見守り・支え合える地域コミュニティづくりや人口規模に応じたまちづくり等をすすめることで人口減少・高齢化に対応する取組を進め、出来る限り人口減少に歯止めをかけ、活力ある、持続可能な地域づくりを実現していくことを目標とする。

- 基本目標 1 まちの活力を高め、将来につながるしごとづくりで『働いてみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』
- 基本目標 2 あいさいの魅力を発信し、ひとの流れをよびこむ『行ってみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』
- 基本目標 3 若い世代・子育て世代に選ばれる『子育てしてみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』
- 基本目標 4 安全・安心を市民との共生でうみだす『住み続けてみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就農者数(親元就農含む)	40人	47人	基本目標 1
	事業所従業者数	17,391人	17,900人	
イ	人口移動数 $\left( \begin{array}{cc} 30\sim34歳 & 35\sim39歳 \\ & \blackrightarrow \\ 35\sim39歳 & 40\sim44歳 \end{array} \right)$	102人	105人	基本目標 2

	道の駅の来場者数	218,439人	270,000人	
ウ	出生数	326人	349人	基本目標 3
	18歳未満の子どもの人数	9,296人	7,950人	
エ	自主防災連合会で活動した自主防災会の割合	40%	65%	基本目標 4
	生きがい・目標を持っている高齢者の割合	58.2%	76.8%	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

愛西市まち・ひと・しごと創生推進事業（プロジェクト）

ア まちの活力を高め、将来につながるしごとづくりで『働いてみた<sup>あ～い</sup>愛まち』事業

イ あいさいの魅力を発信し、ひとの流れをよびこむ『行ってみた<sup>あ～い</sup>愛まち』事業

業

ウ 若い世代・子育て世代に選ばれる『子育てしてみた<sup>あ～い</sup>愛まち』事業

エ 安全・安心を市民との共生でうみだす『住み続けてみた<sup>あ～い</sup>愛まち』事業

#### ② 事業の内容

ア まちの活力を高め、将来につながるしごとづくりで『働いてみた<sup>あ～い</sup>愛まち』事業  
本市の特徴的な産業である農業の振興とともに、新規企業の誘致、既存産業の活性化等により、多様な産業の振興を図る。これにより、経済活動の活性化を進め、市民の雇用の場を創出する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・ 誘致計画の検討・工業団地造成事業
- ・ 工業団地事業所新設企業の奨励事業

- ・6 次産業化の推進事業
- ・女性への就労支援事業 等

## 業 イ あいさいの魅力発信し、ひとの流れをよびこむ『行ってみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』事業

本市の自然資源、歴史・文化資源と地理的優位性を活かし、観光誘客を図る。また、まちの魅力発信や、暮らしやすさ・安全性を重視した環境整備により人を呼び込み、転入者の増加を図る事業。

### 【具体的な事業】

- ・道の駅事業
- ・木曾三川と道の駅を活用した観光拠点整備事業
- ・都市公園等整備・維持管理事業
- ・駅前広場等整備・維持管理事業 等

## ウ 若い世代・子育て世代に選ばれる『子育てしてみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』事業

結婚、妊娠・出産、子育てにいたるまでの切れ目のない支援体制を構築し、合計特殊出生率の上昇と出生数の増加を図る事業。

### 【具体的な事業】

- ・子育て世帯への経済的支援事業
- ・児童発達支援センター事業
- ・次代を担う世代との協働による地域課題解決提案事業
- ・文化・芸術の振興事業
- ・スポーツ機会の充実事業 等

## エ 安全・安心を市民との共生でうみだす『住み続けてみた<sup>あ〜い</sup>愛まち』事業

人口減少、少子高齢化への対応を図るとともに防災対策、市民のまちづくり活動の活性化を進め、生涯にわたって安心して暮らせるコミュニティをつくる事業。

### 【具体的な事業】

- ・健康なまちづくり事業
- ・未来技術を活用した地域形成の推進事業
- ・尾張津島天王祭市江車行事事業
- ・市民活動支援公募事業補助事業 等

※なお、詳細は愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,480,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月に「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」並びに「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、事業の実施状況の評価、検証を行う。その結果については、速やかに愛西市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から2025年3月31日まで